

# 容態確認～心肺蘇生(胸骨圧迫/人工呼吸)の手順

傷病者が成人、または小学生以上の場合の手順です。

人命救助に必要な行動を、迅速に途切れなく行うことを「救命の連鎖」といいます。傷病者を発見したら、この「救命の連鎖」をすぐに開始することが望ましいといわれています。ここでは「救命の連鎖」のうち、傷病者の発見から心肺蘇生(胸骨圧迫/人工呼吸)の実施までを説明します。

## 1 意識を確認する

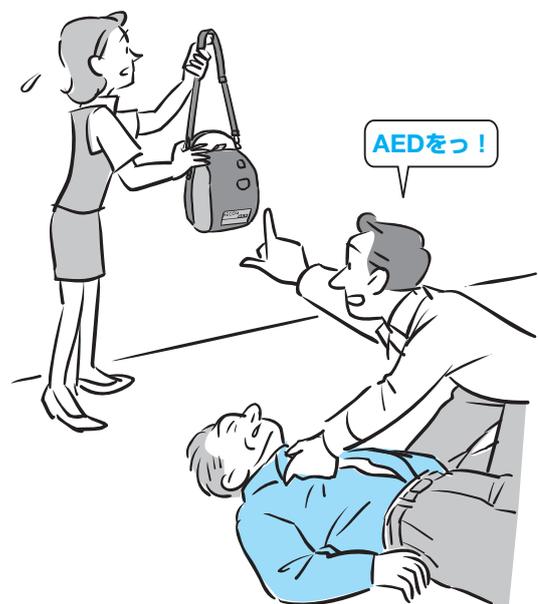
倒れている傷病者を見つけたら、肩を軽くたたき、大声をかけて意識の確認をします。



## 2 119番へ通報し、AEDを準備する

呼びかけに反応がない場合は、ただちに119番通報し、AEDを傷病者のそばに取り寄せます。

◆近くに人がいれば、119番通報とAEDの取り寄せを頼みます。



\* 傷病者が **未就学児** の場合、➡P.22を参照してください。

### 3 呼吸を確認する

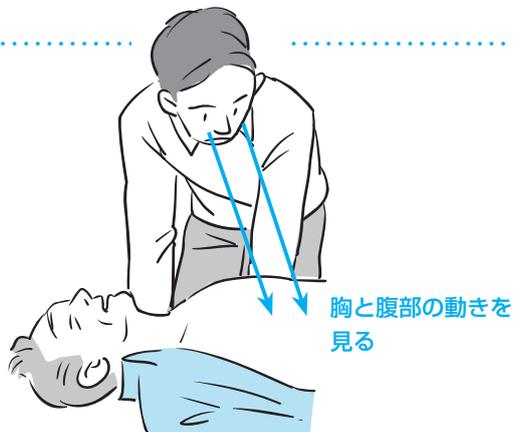
#### 胸と腹部の動きを見て

呼吸を確認してください。

呼吸の確認は10秒以内に行います。

「正常な呼吸」がなければ、心停止とみなします。

- ◆ 傷病者があえぐようなしぐさをする場合がありますが、これは正常な呼吸ではありません。④の胸骨圧迫を行ってください。



### 4 胸骨圧迫(心臓マッサージ)をする

「正常な呼吸」が確認できなかった場合、少なくとも1分間に100回のテンポで、**胸骨圧迫を30回**続けてください。



#### 胸骨圧迫(心臓マッサージ)について

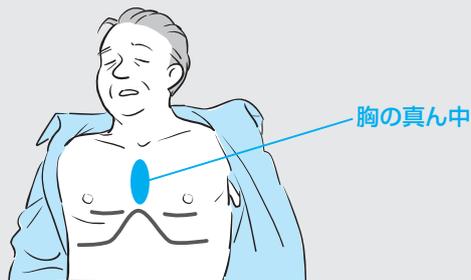
##### 胸骨圧迫とは

胸骨圧迫とは、胸部を圧迫することで、心臓から血液を全身に送り出す方法です。

##### 胸骨圧迫のしかた

- 1 片方の手のひらを、傷病者の胸骨の下半分(胸の真ん中)に置き、もう片方の手の付け根を、最初に置いた手の上に重ねます。
- 2 <sup>ひじ</sup>肘をまっすぐに伸ばした姿勢で、手に体重をかけるように胸部を圧迫します(胸部が少なくとも5cm下に圧迫されるように)。
- 3 少なくとも1分間に100回のテンポで、30回続けて圧迫します。

- ◆ 胸骨圧迫後は手が胸から離れない程度に力を抜き、胸部を十分に戻すようにします。



# 5 人工呼吸をする

人工呼吸を2回行ってください。

**AEDの到着まで、胸骨圧迫を30回、人工呼吸を2回のサイクルを繰り返し行ってください。**

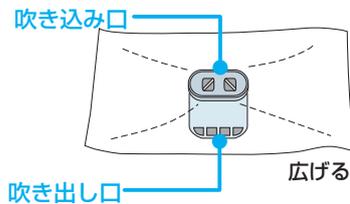
**AEDが到着したら、ただちにAEDの操作を開始します。**

- ◆ 傷病者が嫌がるしぐさをしたり、正常な呼吸をし始めたら心肺蘇生を中止してください。その後、気道を確保したり、必要に応じて回復体位(→P.16参照)をとらせます。
- ◆ 傷病者に正常な呼吸が見られなくなった場合は、ただちに心肺蘇生を再開します。



- ◆ 感染防止のため、蘇生用マウスピースや手袋などの感染防止用具のご使用をお勧めします。
- ◆ 人工呼吸をためらう場合やできない場合は、④の胸骨圧迫のみ行ってください。

## 蘇生用マウスピースの使い方

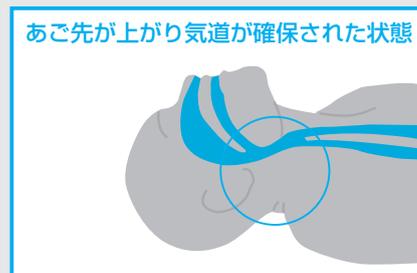
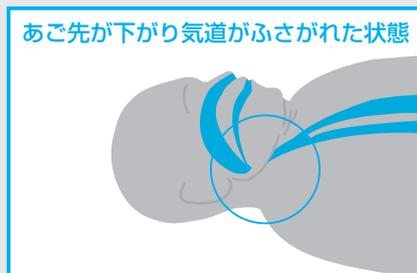


蘇生用マウスピースの上から傷病者の鼻をつまみ、空気が漏れないように口を密着させてゆっくりと息を吹き込む

## 気道の確保について

### 気道の確保とは

意識障害が起こると、傷病者の舌が落ち込み、呼吸のための空気の通り道＝気道がふさがれることがあります。気道の確保とは、呼吸のための空気の通り道を広げることです。



### 気道確保のしかた

**1** 傷病者の横に膝をついて座り、傷病者の前頭部を後ろに押し下げ、あご先を引き上げて頭部を後方に反らせます。

- ◆ あご先を引き上げるには、人差し指と中指をあご先に当てます。

**2** のどの奥が広がり、気道が確保されます。

- ◆ 首やあごの下の軟部組織の圧迫は避けるようにしてください。



- ◆ 傷病者がうつぶせになっていたり、座っているときは、あお向けに寝かせてから気道を確保します。

## 人工呼吸について

### 人工呼吸とは

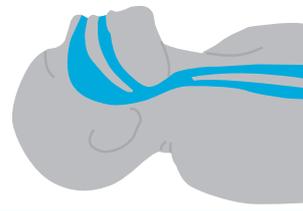
人工呼吸とは、「正常な呼吸」をしていない傷病者に対し、酸素を供給する方法です。

### 人工呼吸のしかた

- 1 傷病者の**気道**を確保した状態に保ちます。
- 2 傷病者の**鼻をつまみ**、傷病者の口を救助者の口でおおいます。
- 3 約1秒かけて、傷病者の胸部が持ち上がるくらいまで**傷病者の口にゆっくりと息を吹き込み**ます。
- 4 いったん口を離し、**傷病者の口から息が出るのを待ち**ます。
- 5 **もう一度、傷病者の口にゆっくりと息を吹き込み**ます。

- ◆息を吹き込んでも、抵抗を感じる場合や胸が膨らむのを確認できないときは、正しい人工呼吸ができていません。  
もう一度気道を確保してから、人工呼吸を行ってください。
- ◆人工呼吸が正しくできた場合もできなかった場合も、2回人工呼吸を試みたら→P.14の手順④へ進み、胸骨圧迫(心臓マッサージ)をしてください。

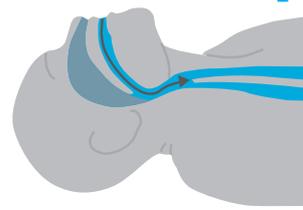
あご先が上がり気道が確保された状態



息を吹き込む  
鼻をつまむ



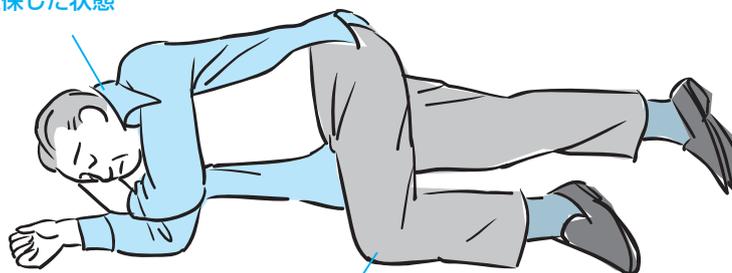
胸が持ち上がる ↑



### 回復体位について

意識はないが正常な呼吸をしている場合、吐いたものなどによる窒息を防ぐために、下図のような体位(回復体位)をとらせ、安静を保ちます。

気道を確保した状態



上側の膝を曲げ、後ろに倒れるのを防ぐ

# AEDの使用手順

傷病者が、「正常な呼吸」をしていない場合、心停止と判断しAEDを使用します。  
 手順はAEDが音声ガイダンスで指示しますので、指示に従ってください。

## ⚠ 危険

- ⊘ 可燃性ガスおよび高濃度酸素雰囲気内では、絶対に使用しない  
 爆発、または火災の恐れがあります。傷病者を安全なところにすばやく移動し、AEDを使用してください。

## 1 AEDのフタを開け、モードを確認する

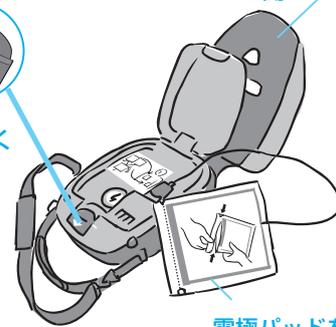
AEDの電源スイッチを手前に引き、フタを開いてください。



成人モードです。  
 意識・呼吸を確認してください。

電源スイッチを手前に引きフタを開く

キャリングケースを開く



電極パッドを出す

### AEDのリズム音について

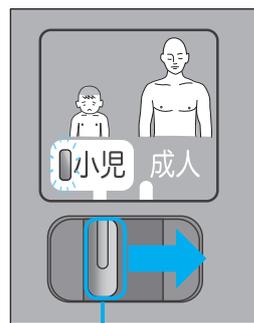
AEDのフタを開けると、リズム音“ポンポンポン”が絶えず流れ続けます。これは胸骨圧迫(8)の際に使用します。

## 2 モードが異なる場合は、成人モードに切り替える

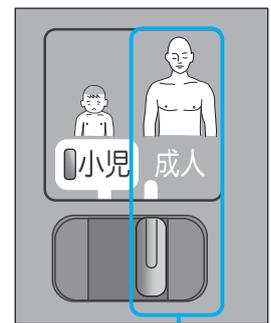
成人・小児モード切替スイッチを、**成人モード**（「成人」の側）に切り替えてください。



小児モードです。  
 小学生以上を使用する場合は、成人にスイッチを切り替えてください。



右にスライドさせる



成人モード

## ⚠ 警告

- ⊘ 小児モードを、指定外の傷病者(成人または小学生以上)に使用しない  
 電気ショックのエネルギーが小さいため、電気ショックの効果が得られないことがあります。

### 3 服をはだけ、胸部を出す

傷病者の胸部の衣服をはだけて素肌を露出させます。

音声ガイダンス



胸を裸にして、AEDのフタから四角い袋を取り出してください。

- ◆衣服をはだけにくい場合は、レスキューキットに入っているハサミで衣服を切ってください。
- ◆胸部が濡れている場合は、レスキューキットに入っているタオルで水分を拭き取ってから電極パッドを貼り付けてください。
- ◆傷病者の胸毛が濃くて、電極パッドと皮膚の密着が悪くなる恐れがある場合は、レスキューキットに入っているカミソリで剃ってください。



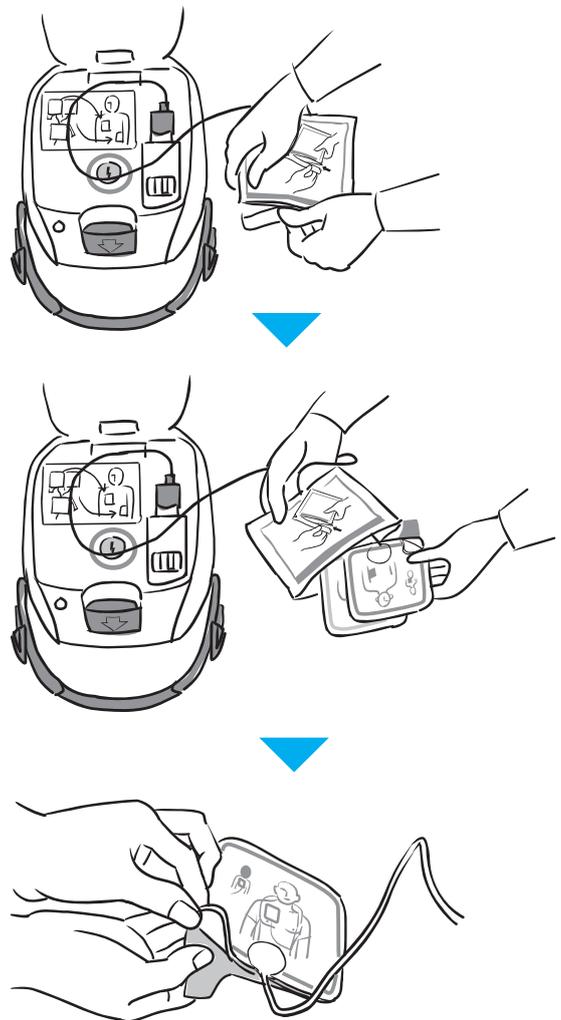
### 4 電極パッド袋を破いて、電極パッドを取り出す

電極パッドを袋から出し、1枚ずつケーブル側から保護シートをゆっくりと丁寧にはがします。

音声ガイダンス



袋を破いて、パッドを取り出してください。



\* 傷病者が**未就学児**の場合、➡P.26を参照してください。

## 5 電極パッドを貼る

電極パッドを、電極パッド表面に印刷された図のとおり胸部に貼り付けます。

音声ガイダンス



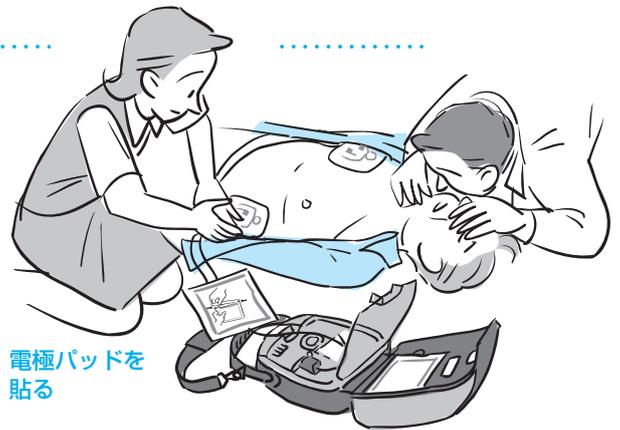
パッドを青いシートからはがして、図のように右胸と左わき腹に貼ってください。

音声ガイダンス

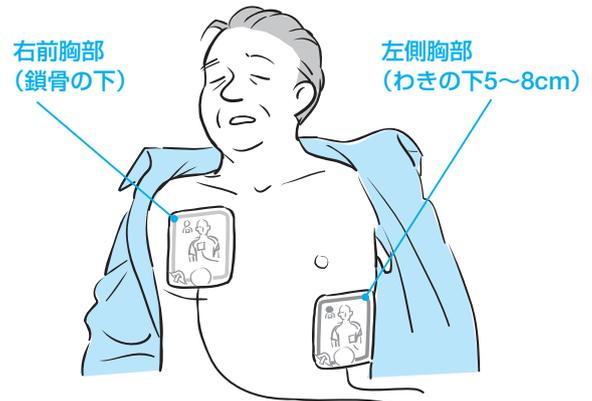


すでに貼られていれば、パッドとAEDの接続部を確認してください。

- ◆電極パッドは、粘着面を皮膚に完全に密着させてください。一度貼り付けたら、貼り直さないでください。
- ◆傷病者の胸部に正しく電極パッドが貼り付けられるまで、音声ガイダンスは繰り返されます。
- ◆電極パッドには左用と右用がありますが、左右を逆に貼り付けてもAEDは正常に動作します。

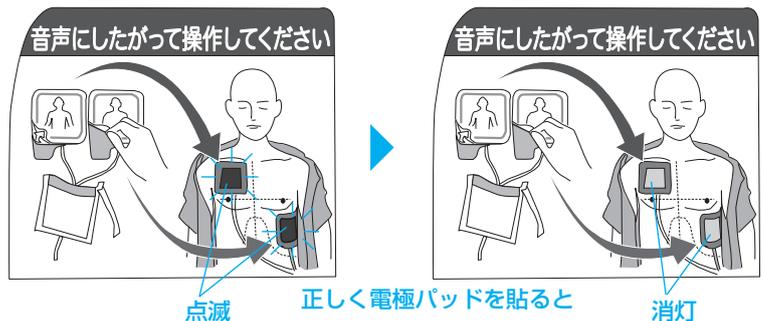


電極パッドを貼る



### 電極パッドの貼り方について

電極パッドが正しく貼られていると、電極パッド装着指示ランプが点滅から消灯に変わります。



点滅

正しく電極パッドを貼ると

消灯

## 警告



### 医薬用貼付薬剤や検査装置の電極などの上に電極パッドを貼らない

AEDは、医薬用貼付薬剤や検査装置の電極などの上に電極パッドを貼ると、電気ショックの際に、火傷を負わせたり電気エネルギーが心臓からそれてしまうことがあります。



### 植え込み型ペースメーカー、ICD(植え込み型除細動器)の上に電極パッドを貼らない

・AEDは、植え込み型ペースメーカー、ICDが体内に埋め込まれている傷病者にも使用できます。皮膚の下に植え込み型医療器具がある場合は、皮膚の出っ張りから電極パッドを最低8cm以上離して貼り付けてください。電気ショックを行った場合は、医療機関にて植え込み型医療器具の点検を行ってください。

・AEDをICDが体内に埋め込まれている傷病者に使用する場合、ICDの治療サイクルが完了するまで30～60秒間待ってからAEDを使用してください。ICDとAEDが同時に機能すると、AEDが正常に動作しないことがあります。



### 電極パッドは触れ合わないよう貼る

電気ショックの際に、電極パッドが触れ合っていると、傷病者の皮膚を火傷させたり電気エネルギーが心臓からそれてしまうことがあります。



### 電極パッドを貼るときは、傷病者の衣服を脱がせ、傷病者の皮膚に直接電極パッドを貼る。また、電極パッドと皮膚の間にすきまができないように、しっかり密着させる

電極パッドが正しく貼られていないと心電図を解析できません。また、電気ショック効果が得られず、装着部に火傷を負わせる恐れがあります。



### 電極パッドは再使用しない

一度使用したり、開封した電極パッドは使用しないでください。傷病者の皮膚を火傷させたり、心臓に適切な量の電気エネルギーを与えられない可能性があります。

## 6 傷病者から離れて待つ

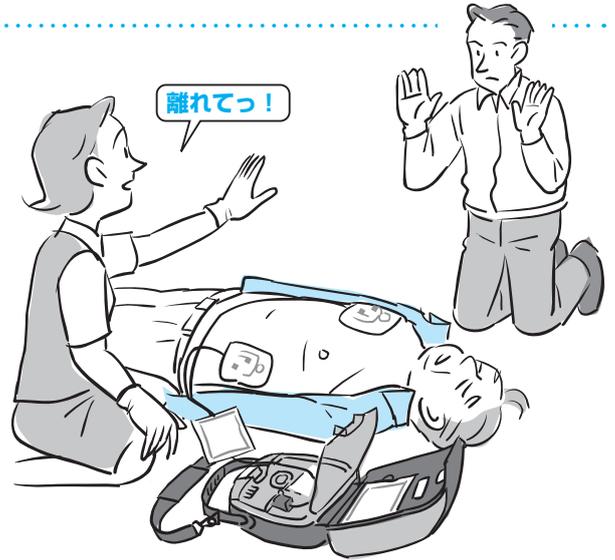
電極パッドを貼ると、AEDが傷病者の心電図を自動解析します。解析が終了するまで、離れて待ってください。

音声ガイダンス



体にさわらないでください。心電図を調べています。

- ◆自動解析の結果、電気ショックが必要な場合は、AEDは電気ショックの準備を開始します。
- ◆自動解析中に傷病者に触れて体が動くと、音声ガイダンスによる警告があります。解析中は、傷病者から離れてください。



### 電気ショックが必要な場合

音声ガイダンス



電気ショックが必要です。充電しています。



### 電気ショックが不要な場合

音声ガイダンス



電気ショックは必要ありません。体にさわっても大丈夫です。



8 の手順へ

## 7 ショックボタンを押して、電気ショックを与える

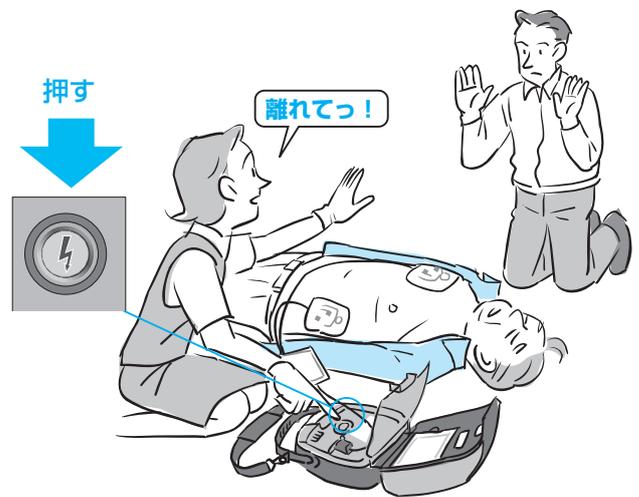
傷病者に誰も触れていないことを確認して、ショックボタンを押してください。

音声ガイダンス



体から離れてください。点滅ボタンをしっかりと押してください。

- ◆AEDのショックボタンが赤色に点滅します。
- ◆ショックボタンが点滅してから30秒以内にショックボタンを押さないと、電気ショックはキャンセルされます。その場合は、AEDの音声ガイダンスに従ってください。



ショックボタンを押して電気ショックを与えると、傷病者の体が一瞬けいれんするように動く場合があります。

音声ガイダンス



電気ショックを行いました。

音声ガイダンス



体にさわっても大丈夫です。

### 警告



電気ショックの際に、傷病者や傷病者に接した電気伝導物質に触れない

電気ショックの際に、傷病者以外の方が、傷病者、ベッド、傷病者の接している電気伝導物質に触れると、傷病者は電気ショック効果が得られず、装着部に火傷を負わせる恐れがあります。

# 8 2分間 心肺蘇生(胸骨圧迫/人工呼吸)をする

胸骨圧迫30回→人工呼吸2回を、2分間繰り返してください。

◆胸骨圧迫の方法 → P.14

◆人工呼吸の方法 → P.16

※AEDから流れるリズム音“ポンポンポン”に合わせて、胸骨圧迫を行ってください。

音声ガイダンス



ただちに胸骨圧迫と人工呼吸を始めてください。

30秒ごとに

音声ガイダンス



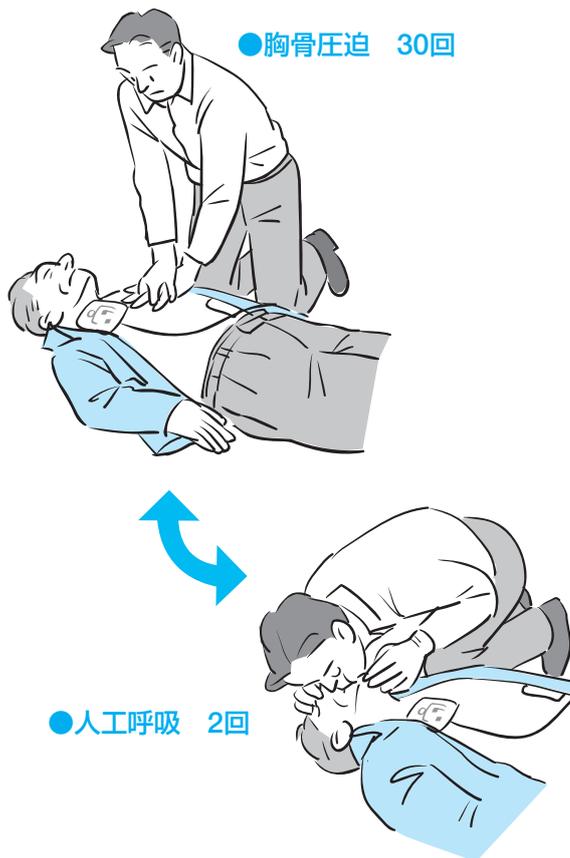
胸骨圧迫と人工呼吸を続けてください。

2分後に

音声ガイダンス



残り5回です。体から離れてください。



AEDの音声ガイダンスに従って、6～8の手順を繰り返してください。

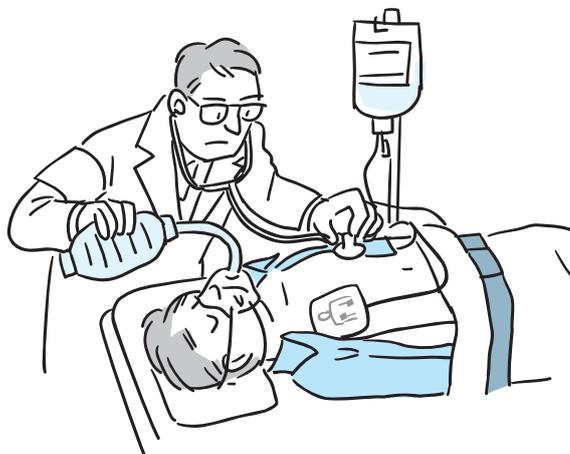
- ◆傷病者が嫌がるしぐさをしたり、正常な呼吸をし始めたなら心肺蘇生を中止してください。
- ◆AEDは傷病者の心臓のリズムが正常に戻っても、再度心室細動が起こる場合に備えて定期的に自動解析を行います。救急隊員に引き継ぐまでに、AEDの音声ガイダンスがあった場合は、指示に従ってください。
- ◆救急隊員が到着するまでは、音声ガイダンスに従って、胸骨圧迫、人工呼吸および心電図の解析を続けます。傷病者の意識が戻り動けるようになっても、容態が変化する可能性があるため、電極パッドは傷病者からはがさず、AEDの電源もオンのままにしてください。
- ◆電極パッドが傷病者に貼られている間は、フタを閉じて電源スイッチをオフにしても、AEDの電源は切れず、音声によるガイダンスを続けます。

# 9 電極パッドをはがさず、救急隊員へ

救急車が到着したら、電極パッドははがさず、電源は入れたままで、救急隊員に引き継ぎます。

## 救急隊員による搬送の際

- ◆長時間の搬送などのため、電極パッドを傷病者に貼ったままAEDの電源を切りたい場合は、電極パッドを傷病者に貼ったまま、AEDのフタを閉じた状態で、電源スイッチをオフ→オン→オフの順で2回スライドさせると、AEDの電源をオフにすることができます。再びAEDの電源スイッチをオンにすると、「心電図を調べています。体にさわらないでください」の音声ガイダンスが聞こえ、心電図を調べ始めます。



# 容態確認～心肺蘇生（胸骨圧迫/人工呼吸）の手順

傷病者が、未就学児※の場合の手順です。

正しい手順で心肺蘇生を行うことが望ましいですが、緊急時には手順の正しさよりも、できることをすばやく行うことが重要です。

※未就学児とは、およそ6歳までの小児を示します。

## 1 意識を確認する

倒れている傷病者を見つけたら、肩を軽くたたき、大声をかけて意識の確認をします。



## 2 119番へ通報し、AEDを準備する

呼びかけに反応がない場合は、ただちに119番通報し、AEDを傷病者のそばに取り寄せます。

◆近くに人がいれば、119番通報とAEDの取り寄せを頼みます。



\* 傷病者が成人、または小学生以上の場合、➡P.13を参照してください。

### 3 呼吸を確認する

#### 胸と腹部の動きを見て

呼吸を確認してください。

呼吸の確認は10秒以内に行います。

「正常な呼吸」がなければ、心停止とみなします。

- ◆ 傷病者があえぐようなしぐさをする場合がありますが、これは正常な呼吸ではありません。④の胸骨圧迫を行ってください。



### 4 胸骨圧迫(心臓マッサージ)をする

「正常な呼吸」が確認できなかった場合、少なくとも1分間に100回のテンポで、胸骨圧迫を30回続けてください。

#### ● 乳児(1歳未満)の場合

胸の真ん中に指を2本当て、胸部を圧迫します。



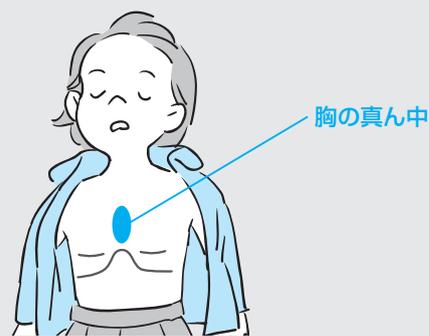
### 胸骨圧迫(心臓マッサージ)について

#### 胸骨圧迫とは

胸骨圧迫とは、胸部を圧迫することで、心臓から血液を全身に送り出す方法です。

#### 胸骨圧迫のしかた

- 1 片方の手のひら(片腕で十分な圧迫ができない場合は両腕)を、傷病者の胸骨の下半分(胸の真ん中)に置きます。
- 2 <sup>ひじ</sup>肘をまっすぐに伸ばした姿勢で、手に体重をかけるように胸部を圧迫します(胸部が胸の厚みの約3分の1を目安に、十分に沈むまで下に押す)。
- 3 少なくとも1分間に100回のテンポで、30回続けて圧迫します。



体重をかけ、胸部が胸の厚みの約3分の1を目安に、十分に沈むまで下に押す



- ◆ 胸骨圧迫後は手が胸から離れない程度に力を抜き、胸部を十分に戻すようにします。

# 5

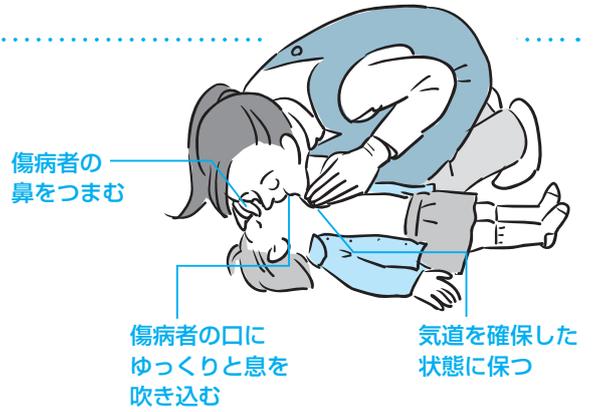
## 人工呼吸をする

人工呼吸を2回行ってください。

AEDの到着まで、胸骨圧迫を30回、人工呼吸を2回のサイクルを繰り返し行ってください。

AEDが到着したら、ただちにAEDの操作を開始します。

- ◆ 傷病者が嫌がるしぐさをしたり、正常な呼吸をし始めたなら心肺蘇生を中止してください。その後、気道を確保したり、必要に応じて回復体位(▶P.25参照)をとらせませす。
- ◆ 傷病者に正常な呼吸が見られなくなった場合は、ただちに心肺蘇生を再開します。



- ◆ 感染防止のため、蘇生用マウスピースや手袋などの感染防止用具のご使用をお勧めします。
- ◆ 人工呼吸をためらう場合やできない場合は、④の胸骨圧迫のみ行ってください。

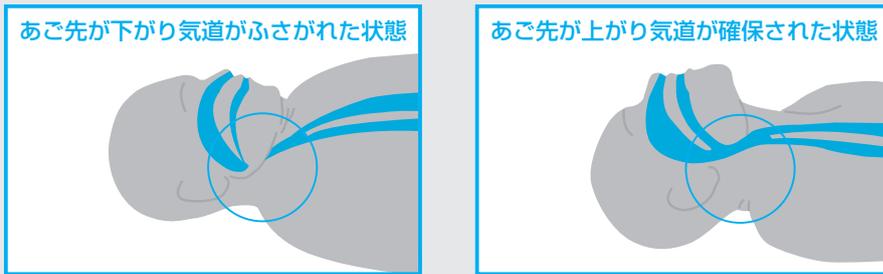
### 蘇生用マウスピースの使い方



## 気道の確保について

### 気道の確保とは

意識障害が起こると、傷病者の舌が落ち込み、呼吸のための空気の通り道＝気道がふさがれることがあります。気道の確保とは、呼吸のための空気の通り道を広げることです。



### 気道確保のしかた

- 1 傷病者の横<sup>ひざ</sup>に膝をついて座り、傷病者の前頭部を後ろに押し下げ、あご先を引き上げて頭部を後方に反らせます。
  - ◆ あご先を引き上げるには、人差し指と中指をあご先に当てます。
- 2 のどの奥が広がり、気道が確保されます。
  - ◆ 首やあごの下の軟部組織の圧迫は避けるようにしてください。



- ◆ 傷病者がうつぶせになっていたり、座っているときは、あお向けに寝かせてから気道を確保します。

## 人工呼吸について

### 人工呼吸とは

人工呼吸とは、「正常な呼吸」をしていない傷病者に対し、酸素を供給する方法です。

### 人工呼吸のしかた

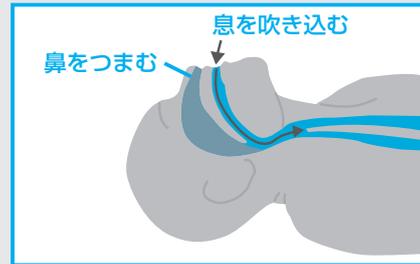
- 1 傷病者の**気道**を確保した状態に保ちます。
- 2 傷病者の**鼻をつまみ**、傷病者の口を救助者の口でおおいます。
- 3 約1秒かけて、傷病者の胸部が持ち上がるくらいまで**傷病者の口にゆっくりと息を吹き込み**ます。
- 4 いったん口を離し、**傷病者の口から息が出るのを待ちます**。
- 5 **もう一度、傷病者の口にゆっくりと息を吹き込み**ます。

- ◆息を吹き込んで、抵抗を感じる場合や胸が膨らむのを確認できないときは、正しい人工呼吸ができていません。  
もう一度気道を確保してから、人工呼吸を行ってください。
- ◆人工呼吸が正しくできた場合もできなかった場合も、2回人工呼吸を試みたら→P.23の手順④へ進み、胸骨圧迫(心臓マッサージ)をしてください。

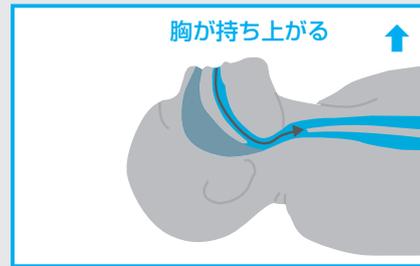
あご先が上がり気道が確保された状態



息を吹き込む  
鼻をつまむ



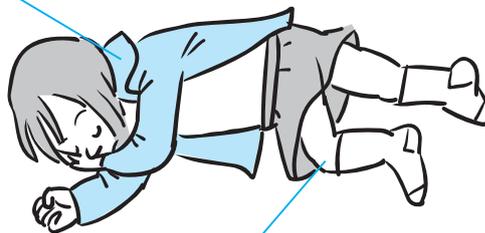
胸が持ち上がる ↑



### 回復体位について

意識はないが正常な呼吸をしている場合、吐いたものなどによる窒息を防ぐために、下図のような体位(回復体位)をとらせ、安静を保ちます。

気道を確保した状態



上側の膝を曲げ、後ろに倒れるのを防ぐ

# AEDの使用手順

傷病者が、「正常な呼吸」をしていない場合、心停止と判断しAEDを使用します。  
手順はAEDが音声ガイダンスで指示しますので、指示に従ってください。

## ⚠ 危険

- ⊘ **可燃性ガスおよび高濃度酸素雰囲気内では、絶対に使用しない**  
爆発、または火災の恐れがあります。傷病者を安全なところにすばやく移動し、AEDを使用してください。

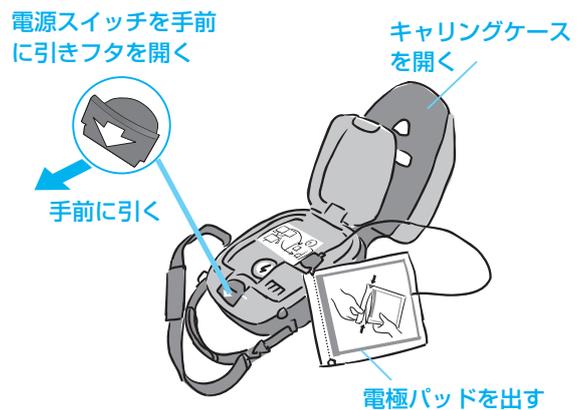
## 1 AEDのフタを開ける

AEDの電源スイッチを手前に引き、フタを開いてください。

音声ガイダンス



成人モードです。  
意識・呼吸を確認してください。



## AEDのリズム音について

AEDのフタを開けると、リズム音“ポンポンポン”が絶えず流れ続けます。これは胸骨圧迫(8)の際に使用します。

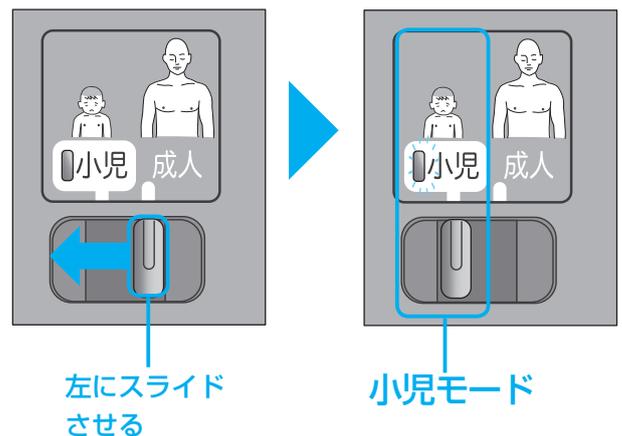
## 2 小児モードに切り替える

成人・小児モード切替スイッチを、**小児モード**（「小児」の側）に切り替えてください。

音声ガイダンス



小児モードです。  
小学生以上を使用する場合は、成人にスイッチを切り替えてください。



## ⚠ 警告

- ⚠ **未就学児\*の傷病者には、必ず小児モードで電気ショックを与える**  
成人モードで電気ショックを与えると、電気ショックのエネルギーが大きいため、傷病者の心筋を痛めることがあります。

\*未就学児とは、およそ6歳までの小児を示します。

### 3 服をはだけ、胸部を出す

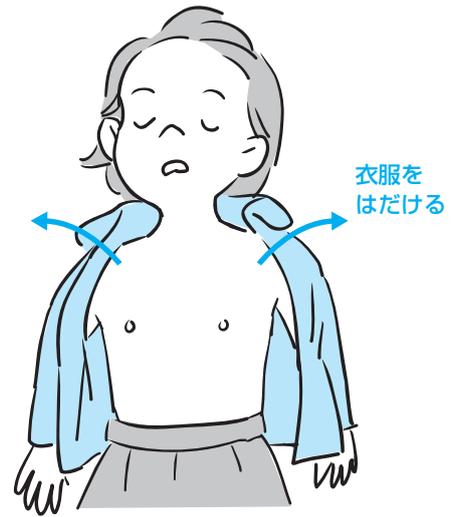
傷病者の胸部の衣服をはだけて素肌を露出させます。

音声ガイダンス



胸を裸にして、AEDのフタから四角い袋を取り出してください。

- ◆衣服がはだけにくい場合は、レスキューキットに入っているハサミで衣服を切ってください。
- ◆胸部が濡れている場合は、レスキューキットに入っているタオルで水分を拭き取ってから電極パッドを貼り付けてください。



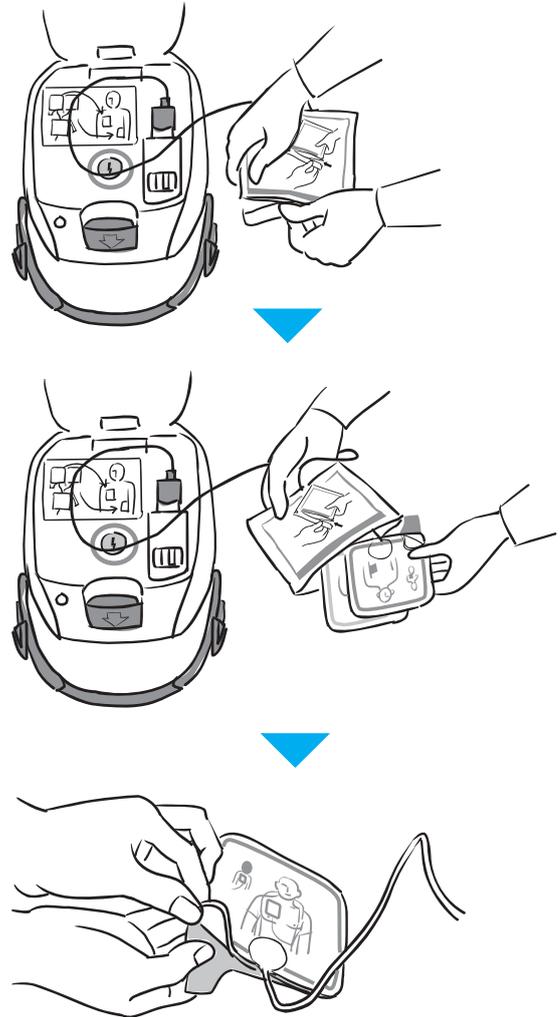
### 4 電極パッド袋を破いて、電極パッドを取り出す

電極パッドを袋から出し、1枚ずつケーブル側から保護シートをゆっくりといねいにはがします。

音声ガイダンス



袋を破いて、パッドを取り出してください。



\* 傷病者が**成人**、または**小学生以上**の場合、➡P.17を参照してください。

## 5 電極パッドを貼る

電極パッドを、電極パッド表面に印刷された図のとおり胸部に貼り付けます。



音声ガイダンス



パッドを青いシートからはがして、図のように貼ってください。

音声ガイダンス

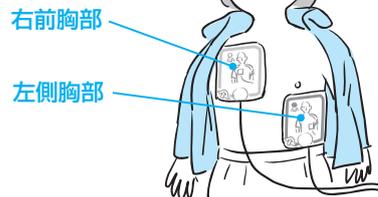


すでに貼られていれば、パッドとAEDの接続部を確認してください。

- ◆電極パッドは、粘着面を皮膚に完全に密着させてください。一度貼り付けたら、貼り直さないでください。
- ◆傷病者の胸部に正しく電極パッドが貼り付けられるまで、音声ガイダンスは繰り返されます。
- ◆電極パッドには左用と右用がありますが、左右を逆に貼り付けてもAEDは正常に動作します。

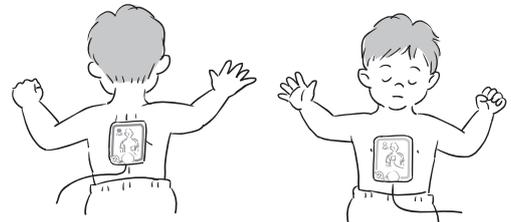
### ●胸部の大きい小児の場合

右前胸部と左側胸部に電極パッドを貼ります。



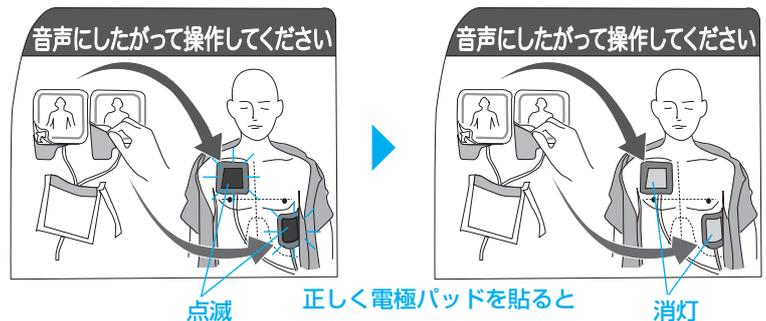
### ●胸部の小さい小児の場合

胸部の前面と背面に電極パッドを貼ります。



### 電極パッドの貼り方について

電極パッドが正しく貼られていると、電極パッド装着指示ランプが点滅から消灯に変わります。



## 警告

- ❗ **電極パッドは触れ合わないよう貼る**  
電気ショックの際に、電極パッドが触れ合っていると、傷病者の皮膚を火傷させたり電気エネルギーが心臓からそれてしまうことがあります。小さい体の傷病者には、前胸部と背中に電極パッドを貼ってください。
- ❗ **電極パッドを貼るときは傷病者の衣服を脱がせ、傷病者の皮膚に直接電極パッドを貼る。また、電極パッドと皮膚の間にすきまができないように、しっかり密着させる**  
電極パッドが正しく貼られていないと心電図を解析できません。また、電気ショック効果が得られず、装着部に火傷を負わせる恐れがあります。
- ⊘ **電極パッドは再使用しない**  
一度使用したり、開封した電極パッドは使用しないでください。傷病者の皮膚を火傷させたり、心臓に適切な量の電気エネルギーを与えられない可能性があります。
- ⊘ **医薬用貼付薬剤や検査装置の電極などの上に電極パッドを貼らない**  
AEDは、医薬用貼付薬剤や検査装置の電極などの上に電極パッドを貼ると、電気ショックの際に火傷を負わせたり、電気エネルギーが心臓からそれてしまうことがあります。
- ⊘ **植え込み型ペースメーカー、ICD(植え込み型除細動器)の上に電極パッドを貼らない**  
・AEDは、植え込み型ペースメーカー、ICDが体内に埋め込まれている傷病者にも使用できます。皮膚の下に植え込み型医療器具がある場合は、皮膚の引っ張りから電極パッドを最低8cm以上離して貼り付けてください。電気ショックを行った場合は、医療機関にて植え込み型医療器具の点検を行ってください。  
・AEDをICDが体内に埋め込まれている傷病者に使用する場合、ICDの治療サイクルが完了するまで30~60秒間待ってからAEDを使用してください。ICDとAEDが同時に機能すると、AEDが正常に動作しないことがあります。

## 6 傷病者から離れて待つ

電極パッドを貼ると、AEDが傷病者の心電図を自動解析します。解析が終了するまで、離れて待ってください。

音声ガイダンス



体にさわらないでください。心電図を調べています。

- ◆自動解析の結果、電気ショックが必要な場合は、AEDは電気ショックの準備を開始します。
- ◆自動解析中に傷病者に触れて体が動くと、音声ガイダンスによる警告があります。解析中は、傷病者から離れてください。

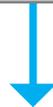


### 電気ショックが必要な場合

音声ガイダンス



電気ショックが必要です。充電しています。



### 電気ショックが不要な場合

音声ガイダンス



電気ショックは必要ありません。体にさわっても大丈夫です。



8 の手順へ

## 7 ショックボタンを押して、電気ショックを与える

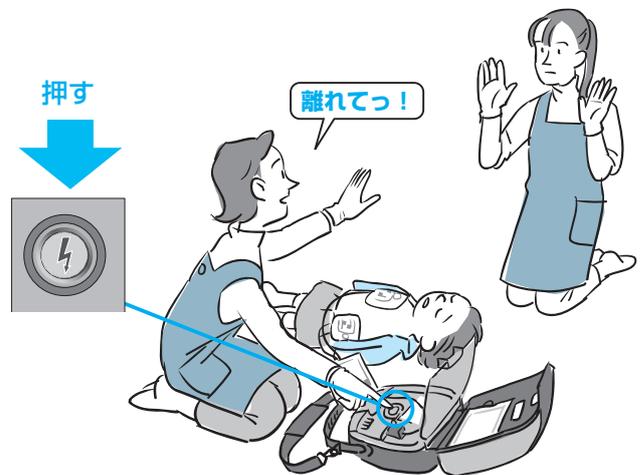
傷病者に誰も触れていないことを確認して、ショックボタンを押してください。

音声ガイダンス



体から離れてください。点滅ボタンをしっかりと押してください。

- ◆AEDのショックボタンが赤色に点滅します。
- ◆ショックボタンが点滅してから30秒以内にショックボタンを押さないと、電気ショックはキャンセルされます。その場合は、AEDの音声ガイダンスに従ってください。



ショックボタンを押して電気ショックを与えると、傷病者の体が一瞬けいれんするように動く場合があります。

音声ガイダンス



電気ショックを行いました。

音声ガイダンス



体にさわっても大丈夫です。

### 警告



**電気ショックの際に、傷病者や傷病者に接した電気伝導物質に触れない**

電気ショックの際に、傷病者以外の人が、傷病者、ベッド、傷病者の接している電気伝導物質に触れると、傷病者は電気ショック効果が得られず、装着部に火傷を負わせる恐れがあります。

# 8

## 2分間 心肺蘇生(胸骨圧迫/人工呼吸)をする

胸骨圧迫30回→人工呼吸2回を、2分間繰り返してください。

◆胸骨圧迫の方法 → P.23

◆人工呼吸の方法 → P.25

※AEDから流れるリズム音“ポンポンポン”に合わせて、胸骨圧迫を行ってください。

音声ガイダンス



ただちに胸骨圧迫と人工呼吸を始めてください。

30秒ごとに

音声ガイダンス



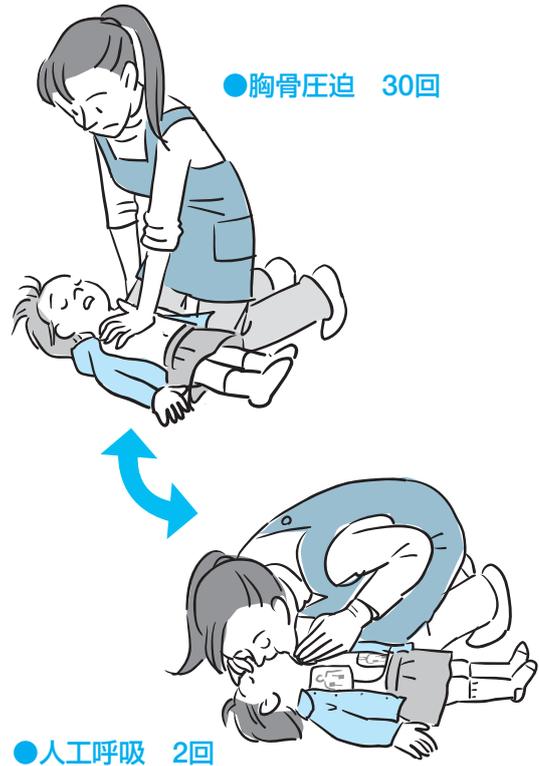
胸骨圧迫と人工呼吸を続けてください。

2分後に

音声ガイダンス



残り5回です。体から離れてください。



AEDの音声ガイダンスに従って、6～8の手順を繰り返してください。

- ◆傷病者が嫌がるしぐさをしたり、正常な呼吸をし始めたら心肺蘇生を中止してください。
- ◆AEDは傷病者の心臓のリズムが正常に戻っても、再度心室細動が起こる場合に備えて定期的に自動解析を行います。救急隊員に引き継ぐまでに、AEDの音声ガイダンスがあった場合は、指示に従ってください。
- ◆救急隊員が到着するまでは、音声ガイダンスに従って、胸骨圧迫、人工呼吸および心電図の解析を続けます。傷病者の意識が戻り動けるようになって、容態が変化する可能性があるため、電極パッドは傷病者からはがさず、AEDの電源もオンのままにしてください。
- ◆電極パッドが傷病者に貼られている間は、フタを閉じて電源スイッチをオフにしても、AEDの電源は切れず、音声によるガイダンスを続けます。

# 9

## 電極パッドをはがさず、救急隊員へ

救急車が到着したら、電極パッドははがさず、電源は入れたままで、救急隊員に引き継ぎます。

### 救急隊員による搬送の際

- ◆長時間の搬送などのため、電極パッドを傷病者に貼ったままAEDの電源を切りたい場合は、電極パッドを傷病者に貼ったまま、AEDのフタを閉じた状態で、電源スイッチをオフ→オン→オフの順で2回スライドさせると、AEDの電源をオフにすることができます。再びAEDの電源スイッチをオンにすると、「心電図を調べています。体にさわらないでください」の音声ガイダンスが聞こえ、心電図を調べ始めます。

